

香川大学大学院医学系研究科（修士課程）臨床心理学専攻学位論文審査基準

1. 学位論文審査基準

(1) テーマ設定

- ① 当該分野の発展への貢献、現代の臨床心理学的課題を踏まえ、研究テーマが設定されているか。また、そのテーマは、より重要な研究へと発展する可能性があるか。
- ② オリジナリティ
設定されたテーマに関連する先行研究が適切に整理され、そのなかで当該論文のテーマにオリジナリティのあることが示されているか。

(2) 研究内容とその記述

- ① 目的の明示
研究の目的が明確に示されており、その目的を達成するために何をどう進めて行くのかというプランが具体的に立てられているか。
- ② 研究方法の妥当性
研究目的を達成するための研究方法は妥当であるか。
- ③ 研究倫理
研究に関わる倫理上の問題（他者の研究成果への尊重、個人情報保護、人権への配慮など）について考慮し、また、必要な対応を済ませた上で研究活動を行っているか。また、必要に応じて医学部倫理委員会の承認を得ているか。
- ④ 記述法・ルール
論文は、各専攻で指定した言語により、明瞭かつ平明な文章で書かれているか。また、引用などを含めて、関連する分野の学会で一般的に用いられている用法を参考にして執筆されているか。
- ⑤ 結果の考察とまとめ
問題設定のうち、何が論証され、何が論証されなかったのかが明確であるか。また、結果に対する適切な考察、及び当初設定した課題に対応した明確かつオリジナルな結論が提示されているか。

(3) 成果

- ① 成果の水準
当該分野において、これまで解決できなかったことを解決する知見、あるいは新しい事象の発見を、参考資料あるいは得られたデータや根拠に基づいて提供されているか。

(4) 評価

本研究科臨床心理学専攻における修士論文の評価は、以下の基準によるものとする。

「秀」学位論文審査基準のいずれの項目をも満たし、さらに、いくつかの項目においては非常に優れていると認められる論文

「優」学位論文審査基準のいずれの項目をも満たし、優れていると認められる論文

「良」学位論文審査基準のほとんどの項目を満たしているが、若干の改善すべきところがあると認められる論文

「可」学位論文審査基準の多くの項目を満たしているが、改善すべきところがあると認められる論文

「不可」学位論文審査基準の多くの項目を満たしていない論文

なお、「研究倫理」に重大な違反が認められる論文は、他の審査基準を満たしている程度にかかわらず単位認定しない。